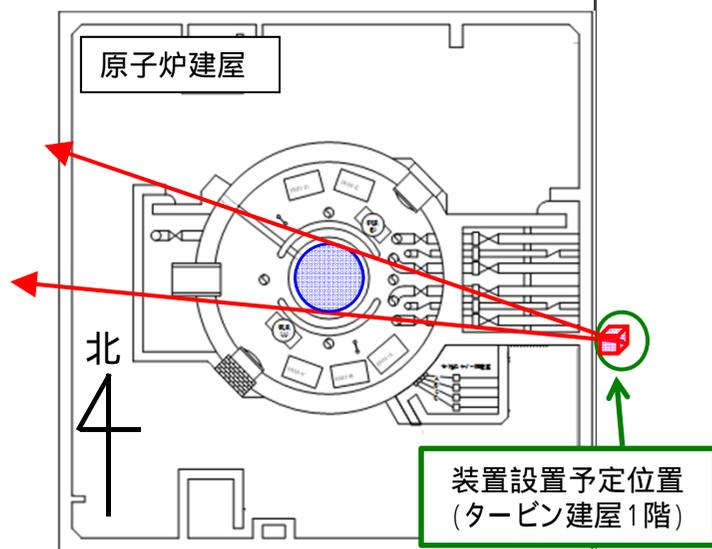


福島第一原子力発電所 3号機

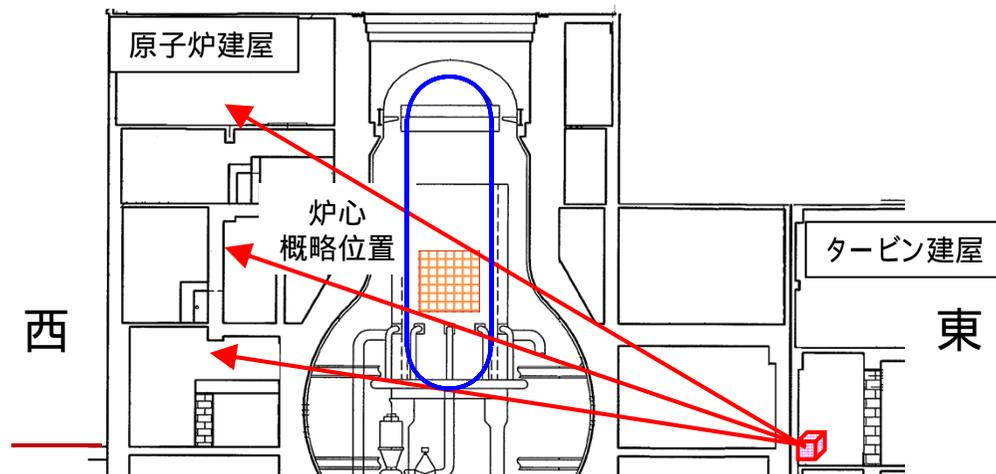
ミュオン測定による炉内燃料デブリ位置把握について

< 参考資料 >
2017年4月24日
東京電力ホールディングス株式会社

- 福島第一 1・2号機において、炉内燃料デブリ位置把握のため、これまでにミュオン透過法により、原子炉を通過する宇宙線ミュオンの測定を実施。
- 3号機についても、4月下旬に測定装置を設置し、5月から数ヶ月程度ミュオン測定を実施する計画。
- 結果報告/測定終了の時期は測定状況に応じて判断する。



3号機 水平断面図



3号機 鉛直断面図

原子炉压力容器の全体を測定範囲にとらえられる見込み

本資料の内容は、技術研究組合国際廃炉研究開発機構 (IRID) の事業の一環として、東京電力HDが実施するものである。

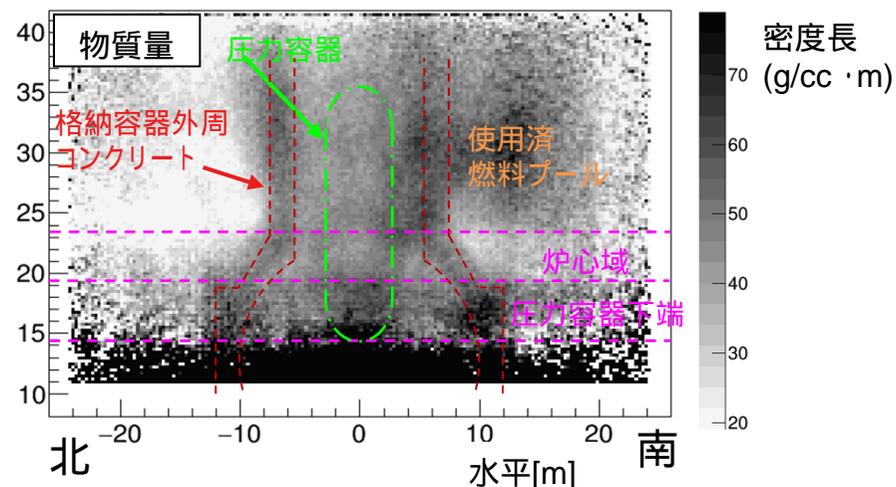
IRID TEPCO

(参考)2号機 ミュオン測定

- 2016年3月～7月にかけて，2号機においてミュオン透過法測定を実施



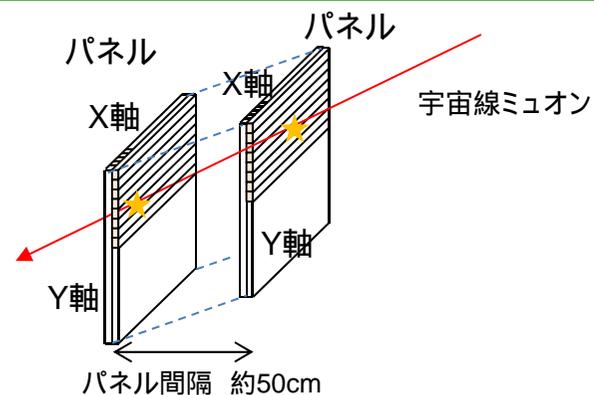
小型ミュオン測定装置 1 (2号機の設置実績)
(約1m×1m×高さ1.3m)



2号機の測定結果 2 (物質分布)

<ミュオン透過法測定の計測原理 (イメージ)>

上空から飛来するミュオンを装置内部に配置した2枚のパネル検出器 (プラスチックシンチレータ) で検知し，通過したパネルの座標からミュオンの軌跡を算出。



- 1 平成25年度補正予算廃炉・汚染水対策事業費補助金「原子炉内燃料デブリ検知技術の開発」で開発
- 2 「福島第一原子力発電所 2号機ミュオン測定による炉内燃料デブリ位置把握について」(平成28年7月28日)